

第2期新得町まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見一覧

No	ページ	計画に対する意見の概要	意見に対する町の考え方	計画への反映方針			
				修正	既記載	参考	その他
1	P29	本文中の「情報通信」を「高速通信網」にしてはどうか。	サービス機能が高速通信網だけでは限らないため「情報通信」として記載します。				○
2	P37	「5つの基本目標」と「横断的目標」がどう関わるのか、図表が分かりやすい表現または用語解説が必要でないか。	P39の図表の中で表現します。	○			
3	P38	第8期総合計画は基本的に平常ペースのものであり、コロナ禍による影響への対応は想定されていない。 当然必要なことは毎年度の検証の下に上されると思料するが、長期化するとの予測もあり、どこかに新しい流れとして施策展開する旨書き込んでおく必要はないか。	コロナ禍の影響もあると思われるが、毎年度のPDCAサイクルの中で対応を検討して行きます。			○	
4	P39	PDCAサイクルについて図の添付または文章で表現してはどうか。	図表を挿入します。	○			
5	P40	婚姻件数について法手続しない事実婚もあり正確性に欠ける。	多様化が進む中、正確性には欠けるかもしれませんが、目標値として信頼できる数値と考えます。				○
6	P40	小学生の子供を育てていますが、兄弟姉妹は2人以上という家庭が多く、出生率の数字を見てもピンときません。出生率の計算は複雑なので一概には言えないのですが、結婚している家庭の出生率も必要かと感じます。	合計特殊出生率は、未婚者も母数となるため既婚世帯の状況とは異なります。 既婚者のみの出生率は公的な指標がありません。「②不妊・不育治療費助成」の指標は「不妊・不育治療費助成件数」に変更します。	○			

第2期新得町まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見一覧

No	ページ	計画に対する意見の概要	意見に対する町の考え方	計画への反映方針			
				修正	既記載	参考	その他
7	P40	あくまで印象論になってしまうのですが、新得は生み育てたいと思える町で子供の生活、教育含め充実していると思います。仮に未婚者が多いため出生率が下がっている場合、未婚率を下げるのが優先ではないでしょうか。	出産・子育て環境の充実に併せて、今まで取り組みを進めていなかった「結婚」への支援の取り組みについても進めていきます。		○		
8	P40	結婚支援については、人生の選択を考えるアドバイザーの存在や、結婚するためのスキルの習得なども施策として考えていく方がよいかと思えます。	単独自治体で取り組むことが困難な施策もあることから、北海道や国と連携し取り組みを進めて行きます。			○	
9	P40	※結婚に対する個人的意見（記載省略）	個人の感想であるため計画への反映はしません。			○	
10	P41	⑥保育所・幼稚園運営事業の「児童」は「幼児」が適切	重要業績評価指標を「待機児童」としているため、文中の表記も合わせて「児童」としました。		○		
11	P42	第1期の雇用創出数、起業者数は残したい。わかりやすい。	基本目標2では「安定的な所得が得られる就業の場を確保」することを目的としたことから、目標値では「雇用創出数」、「起業者数」は採用しませんでした。 新規就農、新規開業については重要業績評価指標として定めます。				○
12	P45	本文中の「膨らみすぎたサービス」は表現が不適切。別な表現とするべき。	「行政サービスの適正化や事務事業」に変更します。	○			

第2期新得町まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見一覧

No	ページ	計画に対する意見の概要	意見に対する町の考え方	計画への反映方針			
				修正	既記載	参考	その他
13	P48	②追加インターチェンジ整備および道の駅整備の本文中の「合わせて」は、「併せて」または「同時に」でないか。	「併せて」に変更します。	○			
14	P49	移住者を増やすために情報発信はとても大事なことです。簡単に移住といいますが、移住はとてもリスクが高くそれも理解されません。残念ながら、移住者を呼び込む際、あくまで町民の都合による視点が多く移住者の本音を見ていません。まずは一般に地方（田舎）に対する固定概念の払拭や、新得に定住した人の理由、移住したが去っていった人の理由もまとめていく必要があるかと思えます。	町移住促進協議会などで協議し、移住者への視点に立ちながら施策推進を図っていきます。			○	
15	P49	しんとく仕事辞典ですが、移住の際最も重要になるのが仕事です。しかし新得含め地方では情報発信能力が弱く、求人はほぼ紙媒体です。企業HPがあるところもありますが、新得町のサイトからはたどりつけません。企業のHPや写真、働いている人の画像や動画などをふんだんに使いPRしていく必要があります。その仕事に、会社に入った場合自分がどのような人生を歩めるか想像できる内容であるといいなと思えます。	主眼は子ども達への冊子配布を想定していますが、町ホームページへの掲載および町内企業との連携（リンク）も含め検討を進めていきます。			○	
16	P52	※人口構造に関する個人的意見（記載省略）	個人の感想であるため計画への反映はしません。				○

第2期新得町まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見一覧

No	ページ	計画に対する意見の概要	意見に対する町の考え方	計画への反映方針			
				修正	既記載	参考	その他
17	P52	<p>天寿を全うするには、各世代、個人が独立した生産能力と消費能力を有している事が必要です。そのため老後は誰かに依存して生きるのではなく、常に勉強し努力する姿勢が大切です。</p> <p>現状でも、キャッシュレスやコンピューター技術を習得し効率の良い生活を心がけるなど協力体制をとるべきだと思います。高齢者は弱者というイメージがありますが、少子高齢化になった以上、弱者ではなく一定の力を持ってしまいました。</p> <p>また、これからの高齢者は現役世代にコンピューターが存在した世代に入ります。現在の技術の延長上に問題解決の糸口があり、手遅れになる前に行動すべきではないでしょうか。</p>	<p>新しい流れも力としながら、時代の変化に応じた支援だけでなく「自助」や「共助」の取り組みも併せて進めていきます。</p>			○	
18	全般	<p>今回は16日間の設定。2年中の決定、新年度予算編成に必要なとの理由付けするが、期間は全ての募集において統一して運用するべきと考える。</p>	<p>第9期計画策定時のスケジュールで募集期間が確保出来るよう検討します。</p>			○	
19	全般	<p>第1期はぽっかぽか心トークで概要を説明した。今回はどうするのか。町民参画の場をつくり、協働によるまちづくりを進めるとしており、参加者が少なくても考えて欲しい。</p> <p>また、概要版の各世帯配布もお願いしたい。</p>	<p>協働のまちづくりを進めるため、計画策定時だけでなく、様々な手法での取り組みを検討していきます。</p> <p>また、本計画完成時には概要版の配布を計画しています。</p>			○	